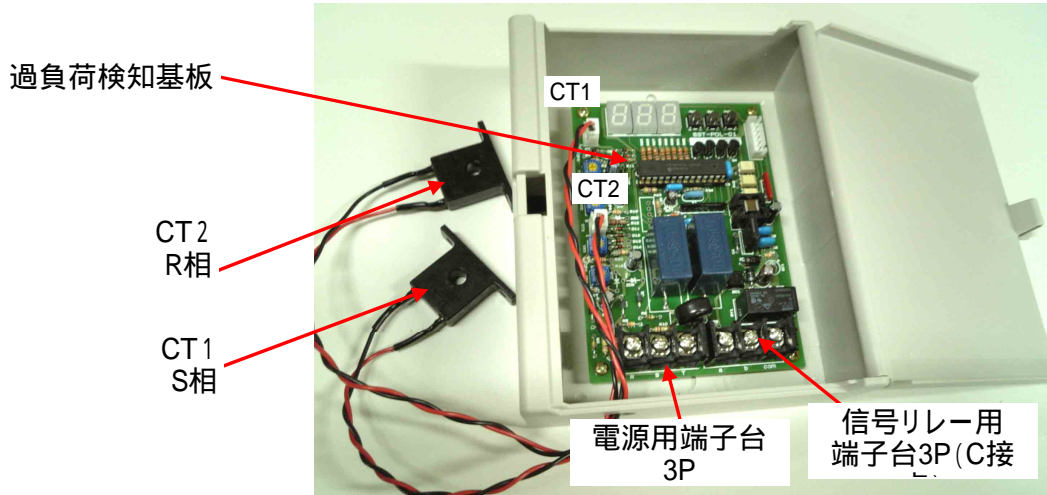


チェーンブロック用過負荷保護装置

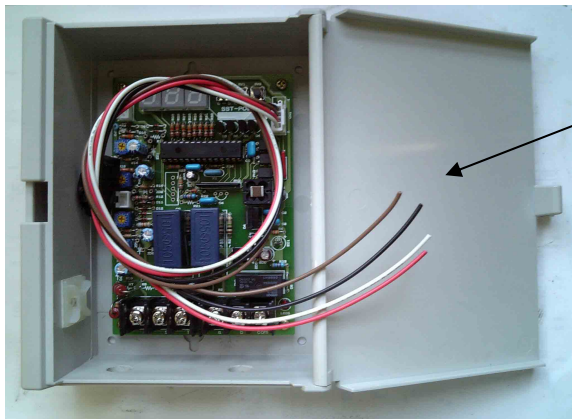
< 概要 >

最大負荷を100%として記憶させ、何%の負荷電流で過負荷保護を行うかを設定することが可能です。インバータ仕様の場合はインバータの電源入力側にCTを取り付けることで検知が可能です。検知方式は2相電圧、2相電流方式のため、電圧変動にも対応します。過負荷動作時は動作状態を自己保持、LEDランプが点灯、内蔵の信号リレー（C接点）が動作します。復帰は電源断、または下降ボタンの信号を入力することで行います。電源電圧はAC200V（AC400V級も対応可）スタートキャンセルタイマ（起動電流無視時間）、ロードタイマ（過電流継続確認時間）の設定が可能です。必要な適応規格については事前にご連絡ください、

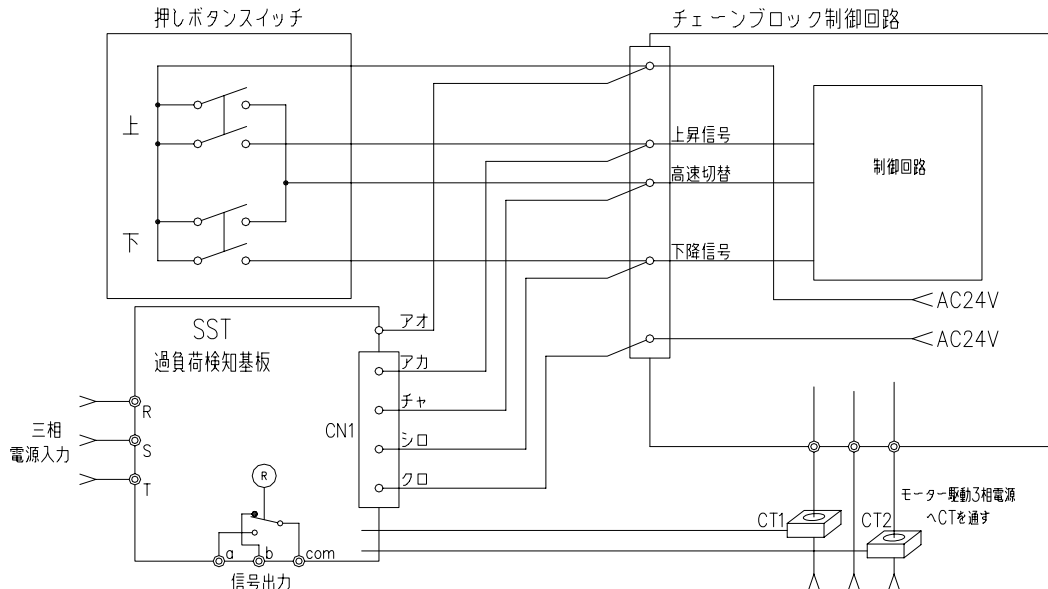


< 結線例 >

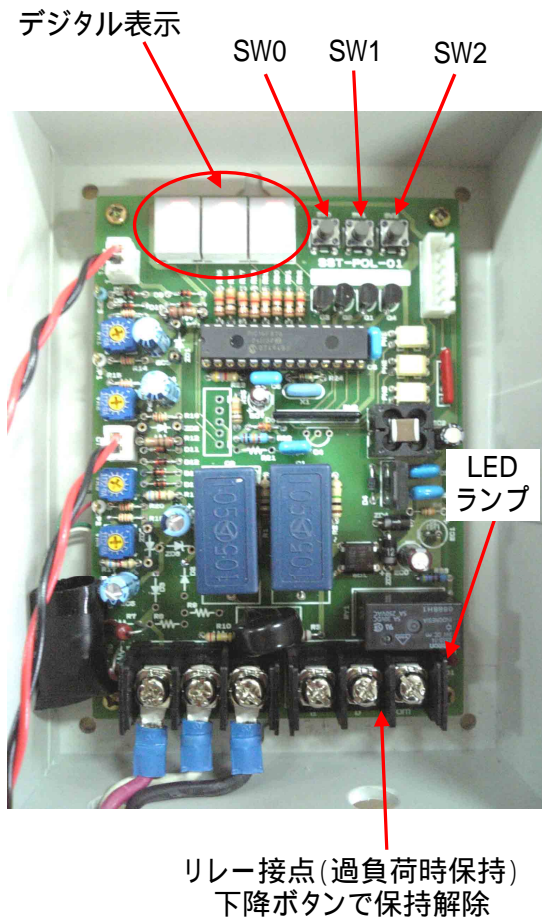
上昇下降で低速高速の2速ある場合



アカ：上昇低速
シロ：下降低速（リレー保持リセット）
チャ：高速切替（1速の場合は不要）
クロ：AC24V（DC24V等その他電源への変更可）
各配線を以下の結線図のように接続。



< 操作方法 >



< 操作スイッチ説明 >

- SW0: 表示項目切り替えスイッチ
長押し(2秒以上)で設定値保存
- SW1: 設定値UPスイッチ
- SW2: 設定値DOWNスイッチ

< デジタル表示説明 >

SW0を押すごとに以下のように表示が変わります

- A1 電流値1
- A2 電流値2
- U1 電圧レベル1
- U2 電圧レベル2
- LP1 低速電力レベル現在値
- LP2 低速電力レベル設定値
- HP1 低速電力レベル現在値
- HP2 低速電力レベル設定値
- ST スタートキャンセルタイマ(0.1s ~ 6.3s)
- LT ロードタイマ(0.1s ~ 6.3s)

電圧と電力は実際の計測器の測定値とは異なります。

・使用方法例(上昇下降2速でそれぞれ過負荷検出の設定を行う場合)

100%負荷に対して108%負荷で過負荷保護を行う方法

S相をCT1へR相をCT2へ通し、電源用端子台に左からR,S,Tの順で三相電源を入力してください。

電源を投入したらSW0を4回押してデジタル表示を「LP1」にしてください。

低速で100%負荷をかけて運転させながら、「LP1」の表示が「100」になるようにSW1,2を押して調整してください。

LP1を設定したら、SW0を2秒以上押してから離してください、離した時点で表示は「LP2」となります。

「LP2」の表示を108に設定し、「LP1」同様にSW0を長押しして値を記憶させます。

低速で108%以上の負荷にて運転してください、過負荷を検知するとLEDランプが点灯し信号用リレーが動作します。

動作しない場合または動作が早い場合は「LP2」の値を上下させて調整してください。

高速の設定は低速時と同様の要領で高速運転させ「HP1」、「HP2」を設定してください。

必要に応じて「ST」スタートキャンセルタイマ(起動電流無視時間)を設定してください。

「LT」にてロードタイマ(過電流継続確認時間)の設定が可能です。

過負荷検知時に動作するリレーは保持接点となっています。解除するには下降ボタンを押してください。